

4 — いきいきとした都市

3

港湾の振興

横浜港は、世界有数の国際貿易港であるとともに、横浜経済の拠点として大きな役割を果たしている。現在建設中のベイブリッジの外側を中心に、国際貿易機能強化のための最新鋭のふ頭が整備されている。内側の港奥部では、港湾中枢機能の充実と新たな都心の形成が計画され、市民や都市とを結びつける都市港湾の建設が行われている。

■進展するコンテナ化

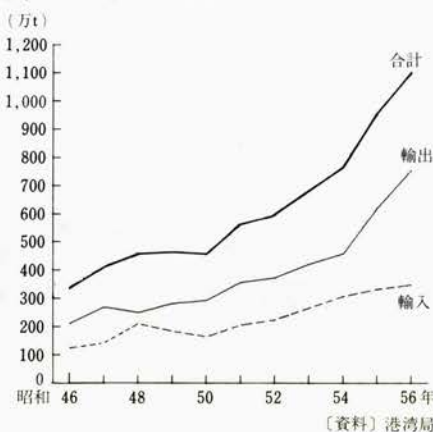
横浜港の取扱貨物量は、第一次オイルショックの影響で一時的な落ち込みがみられたが、ここ数年は回復基調にあった。五六

年は世界的な景気の低迷による影響などで、一億二一六七万tと前年をやや下回った(図-1)。しかし、東南アジア航路などにおけるコンテナ化の進展、横浜港の取扱施設の充実により、コンテナ貨物は急増し、五六年には、対前年比一五・六%増で一〇〇万tを超え、東京港を抜いて神戸に次ぐ全国第二位の取扱量となった(図-2)。外国貿易についてみると、五六年度の貿易額では、輸出七兆八四〇億円、輸入二兆五九六〇億円とそれぞれ全国の二〇%、八%を占め、引き続きわが国最大の貿易額を誇っている(図-3)。なお、取扱われる品目をみると背後地の産業構造の変化を反映して、自動車、テープレコーダー、科学光学機器などの工業製品が多い(表-1)。

■港湾施設など充実

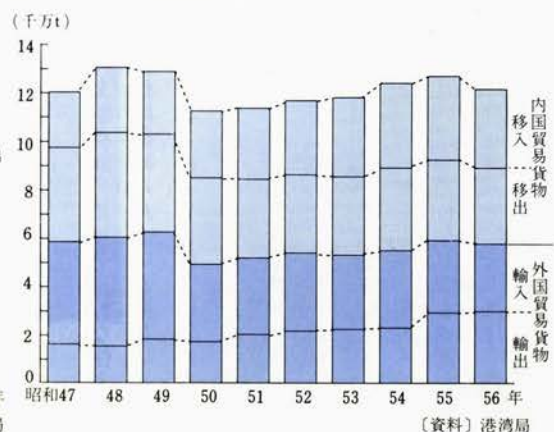
コンテナ輸送に代表される新しい輸送システムは、安全、迅速、効率的輸送を実現させた。と同時に、港に対しては施設の大規模化、利用形態の変化、港湾荷役の大幅な機械化など、港の姿を一新させる大きな変化をもたらした。こうした国際的規模で進

図-1 海上出入貨物年次推移



んでいる輸送革新に横浜港はどのように対応しているだろうか。港湾施設については

図-2 コンテナ貨物量推移



本牧、大黒ふ頭を中心に整備が進められ、五四年には大黒ふ頭コンテナ第一バース、五六年同第二バースが完成した。本牧ふ頭は、五六年にコンテナクレーンの増設が行われた。また五七年には港湾計画を改訂し、今後のコンテナ化の進展などに対応した港湾施設の整備が進められることになった。

利用面での機能充実を図るため、五六年には全国で初めての港湾局業務を対象としたコンピュータシステムを導入した。大量の船舶、貨物などの情報を、即時処理するシステムの稼動により、施設利用者の利便性を向上させるとともに、公共港湾施設の効率的な管理、運営に大きな力を発揮している。

こうした、施設や機能面での整備充実のほか、変化の激しい海外の海運動向に対応した港湾運営や横浜港の利用促進を図ることも重要となってきた。横浜港のPRと外国貨物の増加を図るため、五四年から海外へのポートセールスを港湾業界と行政が合同で実施し、北米、オーストラリア、中国などの各港に代表団を派遣している。また、アメリカのオークランド港、カナダのバンクーバー港と姉妹港を結び、姉妹港セミナー

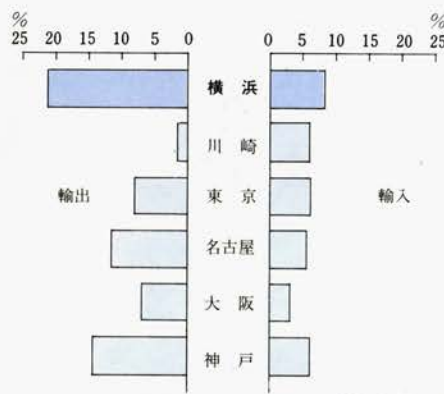
1、人材交流などを通して相互交流や情報交換を図っている。さらに、海外からの研修生の受け入れ、発展途上国の港湾開発協力など、海外との多面的な交流を進めている。

■水際線の市民利用

都市との結びつきを深め、市民生活を向上するため、横浜港の多角的利用が図られている。

内陸部において処分しきれない残土や廃棄物の最終処分場の確保、金沢地先埋立てにみられる都市再開発用地の造成などが、

図-3 主要港貿易額全国比 (昭和56年)



(資料) 港湾局

表-1 昭和56年主要品輸出入表

輸 出 品					輸 入 品				
品 名	価 額 (百万円)	輸出総 額比%	全国額 比%	対前年 比%	品 名	価 額 (百万円)	輸入総 額比%	全国額 比%	対前年 比%
自 動 車	1,527,977	21.6	26.3	103.8	原 油・粗 油	456,844	17.6	3.9	99.6
テープレコーダー	319,048	4.5	26.6	166.8	非 鉄 金 属	335,068	12.9	36.4	94.0
科学光学機器	291,845	4.1	24.0	109.8	石 油 ガ ス	133,436	5.1	7.3	122.0
金 属 製 品	195,466	2.8	20.5	115.1	石 油 製 品	91,222	3.5	7.7	139.5
テレビ受像機	185,893	2.6	43.9	105.8	魚 介 類	65,934	2.5	8.1	93.0
ラジオ受信機	180,040	2.5	25.3	100.6	電 気 機 器	60,494	2.3	9.4	95.6
建設・鉱山用機械	179,099	2.5	47.1	133.0	有 機 化 合 物	53,455	2.1	13.1	98.7
原 動 機	176,306	2.5	25.2	133.1	パ ル プ	52,827	2.0	27.9	77.2
鉄 鋼	153,937	2.2	4.2	92.9	大 豆	49,152	1.9	16.1	91.7
事務用機器	151,298	2.1	26.0	103.0	衣 類	48,794	1.9	12.2	113.2
そ の 他	3,723,093	52.6	-	-	そ の 他	1,248,669	-	-	-
合 計	7,084,002	100.0	21.2	111.8	合 計	2,595,895	100.0	8.3	96.7
全 国 額	33,483,925	-	-	114.0	全 国 額	31,446,571	-	-	98.3

(資料) 港湾局

海域で行われている。さらに、都心に近接した内港地区では、「みなとみらい21」計画にもとづき再開発が進められている。

他方、港と水際線の市民利用も進んでいる。五五年七月には、海の公園の人工砂浜がオープンし、多くの市民が水遊びや潮干狩を楽しんでいる。また、本牧の海釣り施設、金沢埋立地などの水際線緑地が整備され、大榎橋が一般に開放されるなど、市民と港とのふれあいが一層深まっている。